



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 ダイナパック株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3947 URL <https://www.dynapac-gr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 光次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 篠岡 尚久 TEL 052 (971) 2651
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	42,772	0.7	1,293	43.3	1,635	5.6	1,073	13.5
2022年12月期第3四半期	42,494	3.3	902	4.9	1,548	5.1	945	△4.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,800百万円 (64.8%) 2022年12月期第3四半期 1,699百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	108.02	107.94
2022年12月期第3四半期	95.30	95.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	72,975	42,978	58.8
2022年12月期	68,049	40,657	59.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 42,889百万円 2022年12月期 40,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	3.9	2,000	48.0	2,300	13.6	1,620	0.1	161.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	10,322,591株	2022年12月期	10,322,591株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	378,077株	2022年12月期	391,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	9,939,248株	2022年12月期3Q	9,925,702株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料の2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同等の第5類に変更されたことにより、個人消費を中心として緩やかな回復基調となりました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加え、中東地域における紛争などの新たな地政学リスクが発生し、依然として景気の下振れリスクをかかえ先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は427億72百万円（前年同期比100.7%）、営業利益12億93百万円（前年同期比143.3%）、経常利益16億35百万円（前年同期比105.6%）および親会社株主に帰属する四半期純利益10億73百万円（前年同期比113.5%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

包装材関連事業

段ボール業界の国内生産動向は、1－9月累計数量（速報値）では前年比96.3%となりました。これまで需要の伸びを牽引してきた通販分野も昨年同等の出荷数量となり、安定した需要を維持してきた食料品分野も前年を下回る状況となりました。また、輸出関連が中心の電気・機械器具分野においては、需要が大きく減少いたしました。

このような環境の下、当社グループの国内販売は価格改定に取り組んだ結果、増収となりました。販売数量は通販分野で前年を上回ったものの、全体としては段ボール業界と同様に前年を下回り前年比95.8%となりました。

収益面においては、主原材料価格の値上がりに対応し、製品価格の改定と生産性改善を進め、増益となりました。

海外事業は、輸出関連企業の影響を受け減収となりましたが、生産性改善の推進により増益となりました。

以上により、包装材関連事業の売上高は451億83百万円（前年同期比100.2%）、セグメント利益（営業利益）は13億13百万円（前年同期比160.2%）となりました。

不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は2億69百万円（前年同期比100.1%）、セグメント利益（営業利益）は2億18百万円（前年同期比99.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ49億25百万円増加し729億75百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加および設備投資による固定資産の増加などによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ26億4百万円増加し299億96百万円となりました。これは、主に仕入債務の増加などによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ23億21百万円増加し429億78百万円となりました。これは、主に投資有価証券の時価の上昇にともなう有価証券評価差額金の増加に加え、親会社株主に帰属する四半期純利益額を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済は、訪日外国人による消費の回復などを背景に、対面型サービスを中心として内需主導で緩やかな回復が続くと見込まれます。一方、輸出面においては海外経済の減速を背景に低迷する可能性があり、国内景気の押下げ要因となるリスクを含んでおります。

このような環境下、当社グループは新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ需要の回復期を次なる成長に向けた準備の期間と捉え、2021年から2023年の3か年を対象とした中期経営計画を進めております。この構造改革の取組みにて「収益力強化」、海外事業の「持続的成長」、新たな日常への「変化対応力強化」の3つの重点課題を推進し、収益体質への転換を確実にするとともに、さらにその先の成長に向けた取組みを引き続き進めてまいります。

なお、2023年8月4日に公表しております、2023年12月期通期連結業績予想は変更しておりません。

また、配当予想につきましても、当社の利益配分の方針および業績予想数値を鑑み、現時点におきましては2023年8月4日に公表しております1株当たり60円の期末配当予想を据え置くこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,478,895	6,207,512
受取手形及び売掛金	16,947,836	16,930,146
商品及び製品	920,623	1,200,743
仕掛品	384,769	362,971
原材料及び貯蔵品	2,046,826	1,853,537
その他	575,080	703,709
貸倒引当金	△12,043	△12,629
流動資産合計	25,341,986	27,245,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,605,430	19,011,137
減価償却累計額	△13,414,643	△13,861,385
建物及び構築物(純額)	5,190,787	5,149,751
機械装置及び運搬具	29,944,462	30,675,826
減価償却累計額	△24,260,339	△24,833,681
機械装置及び運搬具(純額)	5,684,122	5,842,145
土地	9,264,443	9,280,268
その他	5,084,527	6,529,487
減価償却累計額	△3,413,473	△3,624,744
その他(純額)	1,671,053	2,904,743
有形固定資産合計	21,810,407	23,176,908
無形固定資産		
のれん	367,667	321,709
その他	280,762	251,473
無形固定資産合計	648,430	573,182
投資その他の資産		
投資有価証券	19,886,138	21,609,803
繰延税金資産	82,274	104,878
その他	301,138	286,374
貸倒引当金	△20,802	△22,026
投資その他の資産合計	20,248,748	21,979,030
固定資産合計	42,707,586	45,729,122
資産合計	68,049,572	72,975,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,293,278	12,289,861
電子記録債務	4,082,371	4,120,893
短期借入金	1,061,600	987,228
1年内返済予定の長期借入金	260,464	174,879
未払法人税等	317,154	339,364
賞与引当金	251,477	540,646
その他	3,024,978	3,098,053
流動負債合計	20,291,324	21,550,927
固定負債		
長期借入金	132,359	404,557
繰延税金負債	3,456,999	3,916,518
退職給付に係る負債	2,541,110	2,578,334
その他	970,603	1,546,516
固定負債合計	7,101,073	8,445,927
負債合計	27,392,397	29,996,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	11,392,526	11,956,899
自己株式	△863,083	△833,263
株主資本合計	31,516,122	32,110,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,498,099	9,729,012
為替換算調整勘定	644,140	1,118,017
退職給付に係る調整累計額	△80,834	△67,830
その他の包括利益累計額合計	9,061,405	10,779,199
新株予約権	8,370	8,370
非支配株主持分	71,276	80,375
純資産合計	40,657,175	42,978,260
負債純資産合計	68,049,572	72,975,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	42,494,128	42,772,829
売上原価	35,319,707	35,102,276
売上総利益	7,174,420	7,670,552
販売費及び一般管理費	6,272,310	6,377,498
営業利益	902,110	1,293,054
営業外収益		
受取利息	8,373	20,716
受取配当金	265,021	260,526
為替差益	253,748	34,604
持分法による投資利益	1,479	—
雑収入	159,626	98,895
営業外収益合計	688,249	414,742
営業外費用		
支払利息	19,713	48,758
固定資産除却損	8,056	12,867
雑損失	13,669	10,758
営業外費用合計	41,438	72,384
経常利益	1,548,920	1,635,413
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
投資有価証券売却損	—	690
特別損失合計	—	690
税金等調整前四半期純利益	1,548,920	1,634,742
法人税、住民税及び事業税	549,213	593,774
法人税等調整額	43,393	△41,168
法人税等合計	592,606	552,605
四半期純利益	956,313	1,082,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,368	8,533
親会社株主に帰属する四半期純利益	945,945	1,073,603

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	956,313	1,082,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102,218	1,231,477
為替換算調整勘定	824,949	473,876
退職給付に係る調整額	19,964	13,004
その他の包括利益合計	742,695	1,718,358
四半期包括利益	1,699,009	2,800,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,688,837	2,791,396
非支配株主に係る四半期包括利益	10,171	9,098

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	包装材関連事業 (注)2	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	42,252,711	241,416	42,494,128	—	42,494,128
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,844,147	27,540	2,871,687	△2,871,687	—
計	45,096,859	268,956	45,365,816	△2,871,687	42,494,128
セグメント利益	820,148	219,564	1,039,713	△137,603	902,110

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△137,603千円には、主に事業セグメント間取引消去18,296千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△148,232千円および未実現利益消去△3,331千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	包装材関連事業 (注)2	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	42,531,079	241,749	42,772,829	—	42,772,829
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,652,426	27,540	2,679,966	△2,679,966	—
計	45,183,505	269,289	45,452,795	△2,679,966	42,772,829
セグメント利益	1,313,820	218,591	1,532,411	△239,357	1,293,054

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△239,357千円には、主に事業セグメント間取引消去18,853千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△253,206千円および未実現利益消去△1,255千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。